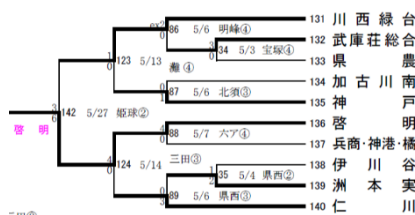


サッカー部について

1. 6年間の主な戦績

★県総体

【平成 29 年度】



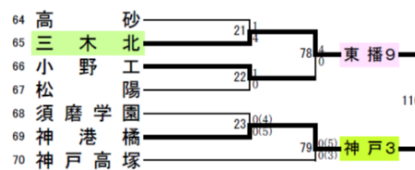
【平成 30 年度】



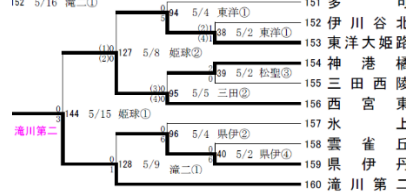
【令和元年度】



【令和 2 年度】



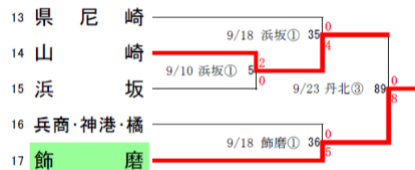
【令和 3 年度】



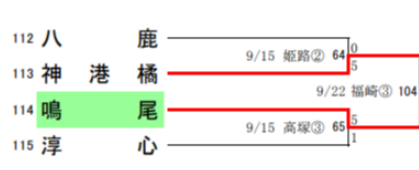
平成 30 年度に 1 期生が 3 年生となり単独チームで参加。過去最高は 4 回戦進出（県ベスト 32）

★県高校選手権

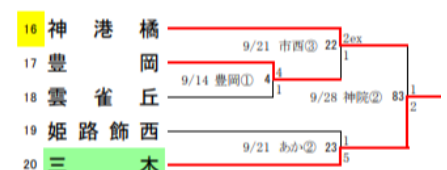
【平成 29 年度】



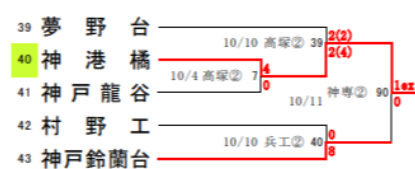
【平成 30 年度】



【令和元年度】



【令和 2 年度】



【令和 3 年度】



1 期生、2 期生は予選ラウンド決勝で敗退。3 期生(令和 2 年度)が初の決勝ラウンド(県大会)出場。3 年度も 2 年連続の決勝ラウンド進出。

【トーナメント表上は予選、下は決勝ラウンド】

2. 部員数とスタッフ

1 期生：6 名 女子マネージャー 2 名

2 期生：11 名

3 期生：5 名 女子マネージャー 1 名

4 期生：8 名 女子マネージャー 5 名

5 期生：8 名

令和 3 年度

6 期生：12 名 女子マネージャー 2 名 合計 35 名

顧問：笠谷忠幸（商業）・黒川祐司（商業）・岩崎陸（商業）



3. 活動について

★当面の目標

「県大会に出場し、まず1勝すること」

「みんなに応援してもらえるチームになり、それを伝統として繋いでいくこと」

★目的

「サッカー、勉強ともに励み、いかなる場面でも重宝される人財になる」

4. 学習面について

定期考査前や検定試験前には、練習後全員居残りで学習会を実施。特に、検定には力を入れ、令和3年度(4期生部員)の検定取得状況は以下の通りとなり、8名全員が卒業時の表彰対象である3冠王以上となった。

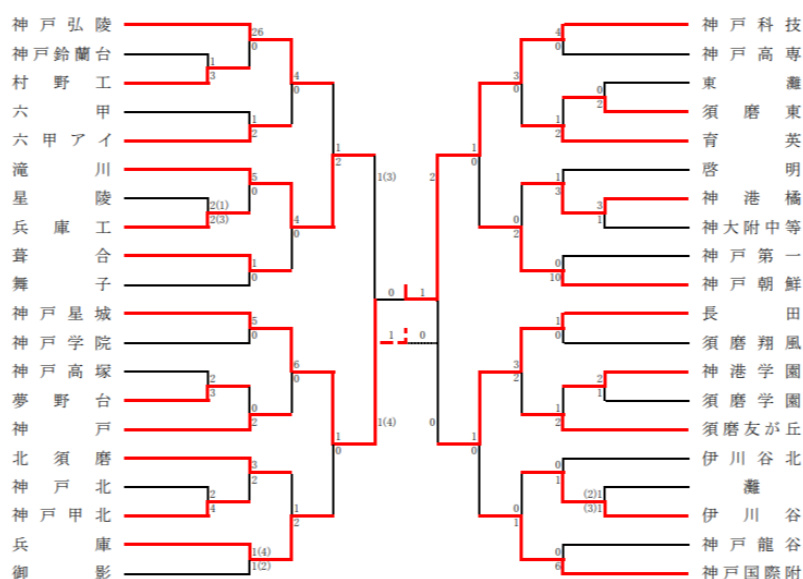
7冠：3名 6冠：1名 5冠：1名 4冠：1名 3冠：2名

5. 令和3年度を振り返って

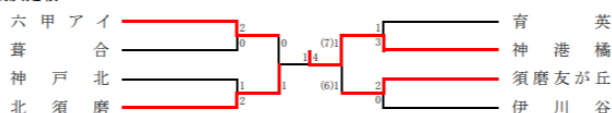
4期生8名、5期生8名に6期生12名が加わり1年間が過ぎた。もともとサッカー経験のない者、中学時代は試合に出ることがなかった者も多数在籍するチームではあるが、限られた時間の中で必死に取り組むことで新たな伝統を作ることができた1年であった。コロナ禍で思い通りの活動ができない時も多くあったが、気持ちを切らせることなく真面目にひたむきに練習に励んでいた。県選手権大会1回戦の科学技術高校戦では、立ち上がり早々に失点するも、完全に相手を崩した攻撃で同点に追いつき相手を慌てさせることができたが、後半立て続けに失点を重ねてしまい残念な試合になってしまった。しかし、ほぼ勝負がついているにも関わらず最後まで諦めず必死にボールを追いつけた結果、試合終了間際に1点返し、見ているものに感動を与えることができた。結果だけではなく最後まで諦めないことの大切さを示してくれた4期生の姿を見ていた後輩たちは、その伝統を引き継ぎ、次のステージへの飛躍を目指し動き出している。

6. 新チーム(5・6期生)について

神戸支部予選 <選手権シード> 滝川第二
《支部出場》 神戸科技・神戸星城・滝川・長田・神戸弘陵・兵庫・神戸朝鮮・神戸国際附・神港橋



● 第9代表決定戦



【令和3年度新人戦県大会】



4期生引退後、新チームが過酷な神戸市予選を突破し、初めて新人戦で県大会への出場を果たした。1年生大会や市高大会を含めると4連戦という厳しい日程もあったが、何とか乗り切り、神戸代表を勝ち取った。県大会では、最後の最後で逆転を許してしまい、今回もまた県大会1勝はお預けとなった。